

特別栽培

西吉野産直組合のたねなし柿

私たちは自然環境を守り、農業生産を維持するため、土づくりを第一に考え環境への悪影響をできる限り低減する栽培方法で、健全な柿の木を育てています。

特別栽培農産物とは

奈良県内で栽培する農産物が地域慣行レベルに比べ

化学合成農薬使用回数 : 5割以下
 化学合成肥料の窒素成分量 : 5割以下の条件で栽培された農産物です

2023年度特別栽培(たねなし柿) 奈良県産
 農林水産省新ガイドラインによる表示

特別栽培農産物

節減対象農薬 : 当地比5割減
 化学肥料(窒素成分) : 当地比5割減
 栽培責任者 西吉野産直組合 特別栽培部会
 所在地 奈良県五條市西吉野町奥谷353-1
 連絡先 Tel 0747-34-0858
 確認責任者 (有)西吉野産直組合 岡崎将和
 所在地 奈良県五條市西吉野町奥谷353-1
 連絡先 Tel 0747-34-0858

節減対象農薬の使用回数

使用農薬化学成分名	用途	生産者番号										
		圃場番号										
		93 1-6	110 1-6	115 1-6	116 1-6	116 2-6	96 2-2	96 9-6	96 1-5	333 1-5	18 1-6	107 1-6
アセフェート	殺虫	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
マンゼブ	殺菌	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
イミノクタジンアルベシル酸塩	殺菌	1	1	1	1	1	1	1	1	1	2	
アセタミプリド	殺虫				1	1						
有機銅	殺菌	1	1	1								
グリホサートカリウム塩	除草		1							1		1
ジノテフラン	殺虫	1	1	1			1	1	1	1	1	1
ジフェノコナゾール	殺菌	1		1			1	1	1	1	1	1
ジアチノン	殺菌											
シベルメトリン	殺虫				1	1	1	1	1			1
アゾキシストロピン	殺菌				1	1						
アクリナトリン	殺虫										1	
クロチアニジン	殺虫				1	1						
ピリフルキナゾン	殺虫	1	1	1			1	1	1	1	1	1
プロチオホス	殺虫											

合計 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7

奈良県産農産物の慣行栽培における化学農薬の使用回数 15回

特別栽培における使用回数 7回以内

※上記農薬使用回数は各圃場(列)ごとに表記しています。